

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



迅速で正確な

画像診断を目指します

画像診断センター長 浅尾 千秋

特集

画像診断センターのご紹介

- VOICE
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、**外来紹介予約センター**をご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード

特集 画像診断センターのご紹介

画像診断センターでは、一般撮影、乳房撮影（マンモグラフィー）、CT装置、透視検査、血管造影検査、骨密度検査などX線を使用した検査とMRI検査があり、核医学センターにてRI検査を行っています。放射線科診断専門医、放射線科専修医、診療放射線技師、看護師、受付クラークで構成され、チームとして協力して様々な検査を実施しています。

放射線診断専門医の業務の柱は、診療において撮影されたCTやMRI、RI検査の画像を読影し、画像診断報告書を作成することですが、検査の最適化を行うことも重要な仕事として取り組んでいます。同じ部位の検査であっても疑われる疾患により撮影や撮像の方法は異なり、それに伴い検査時間も変わってきます。患者さまに安心して苦痛なく検

査を受けていただき、質の高い画像情報を提供するために、それぞれの症例に最適なプロトコルで検査を行うように努力しております。

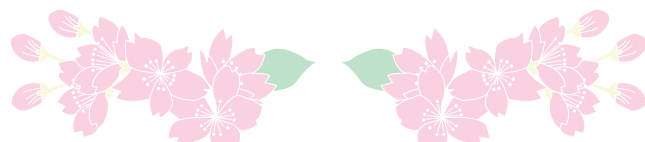
さて、画像診断センターでは1.5テスラ、3テスラ2台のMR装置を備えていますが、1.5テスラのMR装置が最新の機器へと更新され、令和5年1月より稼働を始めました。新しい装置では開口部が従来の装置より10cm大きくなりますので、検査時の圧迫感が軽減し、閉所が苦手な患者さまにも検査を受けて頂く機会が増えそうです。

これからもスタッフ一同研鑽に励み、高精細な画像と正確で迅速な画像診断報告書を提供するように努めて参ります。今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。



放射線科副部長
画像診断センター長
あさお ちあき
浅尾 千秋

専門分野
画像診断一般
専門医・所属学会など
日本医学放射線学会放射線診断専門医
日本医学放射線学会研修指導者
検診マンモグラフィー読影認定医



基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

VOICE

登録医の声



独立行政法人国立病院機構
熊本再春医療センター

院長 うえやま ひでつぐ
上山 秀嗣



◆貴院のアピールをお願いします

当院は熊本市の北、合志市にある病床数 420 床の独立行政法人国立病院機構に所属する病院です。これまで「熊本再春荘病院」として皆様に親しまれてきましたが、平成 31 年 4 月に病院名を「熊本再春医療センター」に変更しました。令和元年 9 月に 8 階建ての新本館棟の運用を開始し、令和 2 年 3 月に旧病棟を管理棟に改修しました。広大な敷地と豊かな自然に恵まれ、病院前には熊本電気鉄道の電車が走り、熊本市内とのアクセスは良好です。地域急性期医療と政策医療（神経筋難病、重症心身障害）の 2 本立ての医療を行っており、菊池医療圏における基幹病院としての役割を担っています。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

私の趣味は音楽鑑賞、写真撮影、読書、ウォーキングです。音楽鑑賞についてはオーディオにはまっていて、最近はアナログレコードをよく聴いています。お勧めスポットは、菊池市七城町亀尾の七城公園内にある水汲み場「前川水源」です。ここで汲んだ水で淹れたコーヒーの味は格別で、定期的に通っています。

◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

当院は 21 時以降の時間外診療体制が手薄なため、'24 時間 365 日断らない医療' を実践されている貴院には大変お世話になっていて感謝申し上げます。逆紹介の患者さまは積極的に受け入れますので何卒よろしくお願いします。



【診療科目】

内科／脳神経内科／呼吸器内科／代謝内科／循環器内科／消化器内科／リウマチ科／感染症内科／腫瘍内科／小児科／外科／消化器外科／呼吸器外科／整形外科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／病理診断科（18 診療科）
（専門外来） 小児神経発達外来／発達障害外来／不登校外来／いびき外来／神経難病相談外来／PDDAT（パーキンソン病デバイス治療）外来／糖尿病透析予防外来／乳腺外来

【診療受付時間】

平日受付 8:30 ~ 11:00

【休診日】

土曜・日曜・祝祭日

【住所】

〒861-1196 熊本県合志市須屋 2659 番地

【TEL】

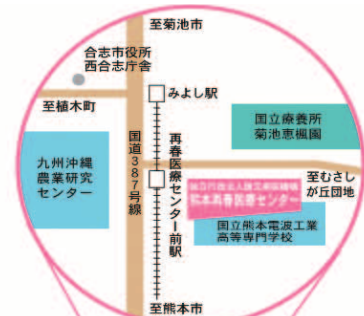
096-242-1000

【FAX】

096-242-2619

【HP】

<https://saishun.hosp.go.jp/>



『 SCJ @ARIA 2022 Best Presentaion Award を受賞して 』

狭心症や急性心筋梗塞は心臓の栄養血管である冠動脈が狭窄・閉塞することにより発症します。その血管内治療をPCI＝経皮的冠動脈インターベンションと言います。従来の冠動脈バイパス＝開胸手術に比べ低侵襲で、身体の負担が少ない利点があります。

PCIで用いるガイドカテをダウンサイズしたり、色々と工夫し更なる低侵襲な治療を追求している集団が、スレンダークラブ＝SCJなのです。

ARIA2022というPCI関連の学会とコラボレートしたセッションが2022年11月にwebで開催されました。

受賞した内容は閉塞リスクが低率な遠位橈骨動脈、親指の付け根＝スナッフボックスで動脈穿刺する際に、通常の橈骨動脈より細いためエコーガイド穿刺が役に立つというプレゼンです。

新しい挑戦をいつも肯定的に受け入れ、支えてくれた皆さんのおかげで第1回アワードを獲得することができたのです。連覇を目指して、カテラボのみんなで頑張ってます。



循環器内科部長
田山 信至



『第28回 熊本医療センター-医学会開催』

新型コロナ感染症第8波がようやくピークアウトを迎えた令和5年1月21日（土）に当院研修センター大ホールにて3年ぶりに熊本医療センター医学会を現地開催することができました。院外からの2演題を含め各部門から全30題を御発表いただきました。各演題は非常に洗練されたものばかりで、発表時間超過等は認めず、発表内容、発表態度、質疑応答ともにすばらしく、進行もとてもスムーズでした。最優秀賞は、朝日野総合病院総合リハビリテーションセンター廣瀬友美様が、優秀賞を桜十字病院リハビリテーション部水野亨哉様と院内から柳田恵理子医師、浦川朋也研修医、江頭佳那看護師、市場美織教育主任、坂田潤一放射線技師が受賞されました。御参加いただきました方々、誠にありがとうございました。来年は院外からより多数の方に御参加いただくと光栄に存じます。



臨床研究部長
富田 正郎

くまびょう TOPICS

ナースエイドのユニフォームが
変わりました

看

【筆者】7北看護師長：西辻 美佳子

ナースエイドは、看護師の指示のもとに、患者さまの身の回りお世話や、書類整理などの仕事を行っています。病気と向き合っている患者さまを、看護師とともに支える大切な医療チームメンバーです。

今回、ナースエイドのユニフォームを更新しました。ナースエイドAさんは元気はつらつのオレンジ色、ナースエイドBさんはシックな紺色を基調としています。機能性がアップした新たなユニフォームで頑張っていますので、ぜひお声掛けください。



2/11 (土) 第5回熊本体外循環技術懇話会に
参加しました

ME

【筆者】臨床工学技士長：富永 圭一

2月11日(土)に熊本市内で開催された「第5回熊本体外循環技術懇話会」に、当科より2名の臨床工学技士が参加いたしました。本会は熊本県内で心臓外科手術を行っている施設の医師らに臨床工学技士により構成されており、体外循環に関する知識向上を目的に開催されています。今年度は「体外循環中のBlood Management -血液ガス分析、浸透圧管理を中心に-」というテーマでテーブルディスカッションが開催されました。県内4施設の臨床工学技士より各施設での管理方法や考え方等を聴講することができ大変勉強になりました。また東京大学病院心臓外科 小野教授より「我が国における心臓移植と植込み型補助人工心臓の現状と展望」というテーマで講演していただき、心臓移植に関する本邦の現状や人工心臓に関する最新情報、近年保険適応された長期在宅補助人工心臓治療(DT: Destination Therapy)への期待について聴講することができました。今回得た知識を、日常の人工心肺操作に活かしていきたいと考えています。

【場所】三井ガーデンホテル熊本



1/28 (土) 災害訓練を開催しました

事

【筆者】救命救急部長：櫻井 聖大

令和5年1月28日(土)、熊本県の日奈久断層帯・布田川断層帯を震源とするM7.9の地震を想定した、九州・沖縄ブロックDMAT実動訓練が開催されました。当院の被災想定は、建物や通常電源は問題なし、水道は飲用以外は使用可能という想定で、熊本地震の際と同様、多数の傷病者を受け入れなければいけない、という設定でした。

本来はDMAT実動訓練に合わせて、当院でも大規模な災害訓練を開催したかったのですが、準備が間に合わず、災害対策本部の立ち上げと運営をメインとした、小規模な院内訓練を行いました。CSCAの確立、現状の評価と分析、傷病者の受け入れの机上訓練、DMAT隊の支援要請などを行いました。久しぶりの災害訓練だったこともあり、最初は戸惑いながらの対応でした。見つかった課題を検討し、次年度には大規模な災害訓練を開催したいと考えています。

最後に、お忙しい中訓練に参加頂いた皆様方、本当にありがとうございました。

【場所】2F研修センターホールなど



研修医レポート

臨床研修医

つるた えり
鶴田 恵里



研修医1年目の鶴田恵里と申します。熊本大学を卒業し、2022年4月より初期臨床研修をさせていただいております。早一年が経とうとしていますが、まだまだ慣れないことばかりで多くの方々に支えていただきながら研修させていただいています。

4月に回った救急科では、救急病院の研修医として、そして社会人としても洗礼を受けましたが、多くの緊急疾患の症例を経験することができ、また、コメディカルの方々と連携することの大切さを身に染みて感じました。内科系の診療科では病棟管理・各診療科特有の手技を経験しました。また、医学生の時とは違い、毎日患者

さまとお会いする中で医師として責任感を感じる場面が多々ありました。外科では毎日様々な手術に参加し、術前・術後管理について教えていただきました。緊急手術に参加させて頂いた際には救急搬送された患者さまを数時間後に手術するというスピード感に感動しました。麻酔科での1分1秒で変わるバイタルサインや、患者さまの状態を見ながらリアルタイムで薬剤を投与する経験は現在でも全身管理する上での貴重な経験となりました。現在回っている小児科では採血などをはじめ、小児ならではの難しさはありますが、可愛い笑顔に癒されながら研修をさせていただいています。

研修医生活も一年が終わろうとしており、折り返し地点となりました。私はプライマリプログラムのため、来年度は12月まで他の病院で研修させていただきます。熊本医療センターに戻ってきた時に、少しでも成長した姿をお見せできるよう日々精進して参ります。

臨床研修医

もりおか だいぎ
森岡 太意気



研修医1年目の森岡 太意気と申します。2022年3月に熊本大学を卒業し、今年度より熊本医療センターにて初期臨床研修をさせて頂いております。私は国立医療センターのプライマリケアコースというプログラムを選択しており、今年度、研修医1年目は熊本医療センターで、2年目の来年度は合計9か月間、水俣と山鹿で地域医療を中心に研修をさせて頂く予定です。

秃筆ながら今回このようなレポートを書く機会を頂き、これまでを振り返ると熊本医療センターでの研修生活が既に10か月を迎えようとしており、月日が過ぎる早さを改めて実感しています。同時に、これまで熱心・丁寧にご指導下さった先生方は勿論、看護師さんや薬剤師さん、

その他の職員さん方に心より感謝しております。温かく見守って下さりありがとうございます。

熊本医療センターは3次救急病院として、様々な疾患を診る機会に恵まれています。また高い専門性を持った先生方やスタッフの方が大勢居られ、検査や治療も充実した環境であり、自身の診察・アセスメントに対し多くのフィードバックを得ることができる研修病院として非常に恵まれた場所であると思います。

直に研修は折り返しを迎えようとしており、自身の診療や研修の姿勢についてこのままでよいのかと焦りを感じることもありますが、初期研修は様々な専門の先生方に教えを乞える絶好の機会であると思いますので、この貴重な研修期間を一日一日大切に過ごして、丁寧な診療を心掛けて参りたいと思います。

4月には後輩もでき、水俣という新しい場所での研修も始まりますが、初心を忘れず研鑽を積んで参りたいと思いますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

2023年3月 研修のご案内

第139回 国立病院機構熊本医療センター クリティカルパス研究会

日時▶ 3月1日(水) 17:30～18:30
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

二の丸モーニングセミナー

日時▶ 3月2日・9日・16日・23日・30日(木) 8:15～8:45
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

第60回 診断と治療—最新の基礎公開講座— 【ハイブリッド開催】 〔日本医師会生涯教育講座2.5単位認定〕

日時▶ 3月4日(土) 15:00～17:30
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「糖尿病治療 update」

座長 山鹿中央病院 理事長 水足 秀一郎 先生

- (1) 軽症糖尿病への対応 —生活習慣改善の意義—
国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科副部長 木下 博之
- (2) 経口血統降下薬
国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科部長 西川 武志
- (3) インスリン／インクレチン療法
菊池郡市医師会立病院 院長 豊永 哲至 先生

WEBでのご参加をご希望の方は、事前に下記メールアドレス、
またはQRコードより事前予約をお願いいたします。
開催日までに招待メールをお送りいたします。
Mail: mng.kumamoto@deluxe.ocn.ne.jp



第289回 月曜会(内科症例検討会) 〔日本医師会生涯教育講座1.0単位認定〕

日時▶ 3月20日(月) 19:00～20:00
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修室2

- 1 糖尿病・内分泌内科からの一例 2 総合診療科からの一例

小児科火曜会【WEB配信あり】

日時▶ 3月28日(火) 19:00～21:00
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修室1

令和5年度「診断と治療—最新の基礎公開講座—」会員募集のご案内

国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センターでは医師の生涯研修の一環として熊本県医師会、
熊本市医師会と共催で「診断と治療—最新の基礎公開講座—」を開催致しております。

つきましては来年度、ご参加いただける会員様を募集いたします。

ご希望の方は当院ホームページの申込書をダウンロードしてFAX、郵便、メール等で下記の申込先
までお送りください。会員のご登録を頂いた方には事前に資料をお届けいたします。

(申込書は4月よりホームページに掲載いたします。)

- ・定員：約100名
- ・参加費：無料

【申込先】〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号
国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター事務局
TEL: 096-353-3515 (直通)
FAX: 096-352-5025
MAIL: mng.kumamoto@deluxe.ocn.ne.jp

※本講座は日本医師会生涯教育講座に認定される見込みです。

患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565 096-353-6566

FAX 096-353-6563



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明

令和5年3月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 中村 真久	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志 (午前新患) 西川 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 西川 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 拓弥 (午前再診)	木下 博之 (午前新患) 裕大 (午前再診)	井手口 拓弥 (午前新患) 木下 博之 (午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師 (院内コンサルト)	(午前紹介/院内コンサルト) 原 英記		名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 原 英記 (院内コンサルト)
	感染症内科	小野 宏	小野 宏			小野 宏	小野 宏
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	松下 昂樹	富田 正郎	
腫瘍内科	境 健爾	境 健爾 達智	境 健爾 博隆	境 健爾	境 健爾 達智		
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥	杉 和洋 中田 成紀 向坂 健佑	杉 和洋 石井 将太郎 佐々木 大亮	杉 和洋 松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮	
	内視鏡	午前	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮	松山 太一 佐々木 大亮	松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥
		午後	中田 成紀 向坂 健佑 松田 暖	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 石井 将太郎 山本 祐弥	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥
	腹部超音波	杉 和洋 松田 暖	石井 将太郎 松田 暖 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑 山本 祐弥	石井 将太郎 大亮 山本 祐弥	
心臓血管センター (循環器内科)	診 察	田山 信至 山下 裕章 (新患) 木村 優一 (新患)	藤本 和輝 拓光 (隔週 新患) 奥野 佑樹 (隔週 新患)	片山 哲治 (新患) 山下 裕章	田山 信至 (新患) 友宏 長倉 拓光 奥野 佑樹	和輝 (新患) 片山 哲治 木村 優一	
	(心臓血管外科)	手術日	岡本 健実 岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実	
精神・神経科	初めての方 2回目からの方						
小児科	診察	水上 智之	大塚 ゆかり	水上 智之	水上 智之	小山 真輝	
	免疫	水上 智之		水上 智之 担当医	水上 智之		
	血液	石田 昌宏				石田 昌宏	
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美	
外科	東 孝暁 日高 香織 (隔週)	水元 孝郎 松本 谷崎 卓実	野元 大地	宮成 信友 松石 梢	久保田 竜生		
脳神経センター (脳神経外科)		中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	田嶋 恒三 大塚 忠弘	中川 隆志	斉藤 大嗣 大塚 忠弘	
	1 診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 孝太郎	小坂 崇幸	津田 幸元	
	2 診	高松 孝太郎	小坂 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助	田北 智裕	
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平	手術日	福元 哲也 前田 智和 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平		園武 茜		富野 航太	
泌尿器科	前田 喜寛 銘苅 晋吾	菊川 浩明 鮫島 智洋 村上 栄敏	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘苅 晋吾 山中 達郎	菊川 浩明 東 俊之介 / 担当医		
産婦人科	高木 みか 坪木 純子	山本 直 島田 清史郎	手術日	高木 みか 坪木 純子	山本 直 清史郎		
感覚器センター (眼科)	榎木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	榎木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	榎木 大輔 幸野 理久 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 志茂田 裕	手術日	担当医	上村 尚樹 志茂田 裕		
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり)	中原 智史	牧野 公治	草場 雄道	担当医	牧野 公治	
	再診 (その他 初診)	中原 智史 草場 雄道	牧野 公治 担当医	草場 雄道	担当医 (手術日)	牧野 公治 担当医	
形成外科	(午 後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 石田 拓也 大塚 駿太	(午 後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 石田 拓也 大塚 駿太	(午 後) 大島 秀男 石田 拓也 大塚 駿太		
放射線科	治療 (予約制) 画像診断	富高 悦司、山田 茂雄 根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、幸村 紘子、吉松 俊治					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察 / 麻酔相談)	添田 賢造 (術前診察 / 麻酔相談)		(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)			
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆		
歯科 口腔外科	谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈 前田 顕誠 (隔週)	中島 健 谷口 広祐 (隔週) 中川 文雄 中尾 美文 早川 真奈 (隔週)	中島 健 谷口 広祐 中川 文雄 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 中川 文雄 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 中川 文雄 早川 真奈		
救命救急センター	櫻井 聖大 橋本 克孝 松本 周 山田 國友 吉村 耕太郎 文孝 深水 浩之 和也 国武 和也 大樹 大樹	櫻井 聖大 橋本 周 山田 耕太郎 久保崎 順子 深水 浩之 和也 国武 和也 大樹 大樹	櫻井 聖大 橋本 周 松本 周 山田 周 深水 浩之 木村 文彦 国武 和也 大樹 大樹	櫻井 聖大 橋本 周 松本 周 山田 周 深水 浩之 国武 和也 大樹 大樹	櫻井 聖大 橋本 周 山田 周 深水 浩之 大介 国武 和也 大樹 大樹		
看護外来	ストーマ	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	がん看護	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	移植後フォローアップ	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	認定看護師	
薬剤師外来	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	

(注) 担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R5/3/1